

## 特集 オンラインイベントを主催することになったときは～YouTube ライブ配信

コロナ禍によりイベントのオンライン開催が普及していますが、イベントで実施する内容をオンラインで広く配信する方法について記載します。

### ■オンラインイベントの同期型と非同期型

オンラインイベントを配信する方法として、次のような同期型と非同期型があります。

同期型：Zoom によるイベント開催、YouTube のライブ配信など

非同期型：イベントを録画してホームページや YouTube などで公開

同期型はイベントをリアルタイムで配信する方法であり、Zoom などにより双方向のコミュニケーションができるのでイベントの参加者は臨場感や一体感が得られます。しかし、参加者がイベントの時間に合わせてネットに接続しなければならないので、その時間を拘束することになります。また、リアルタイムでは映像や音声などの技術的なトラブルが発生しがちです。それに対して、非同期型は予め収録した動画をイベントで公開する方法であり、閲覧者はそれをいつでも繰り返し見ることができます。また、主催者は動画に画像や文字を入れて見やすく編集することができ、技術的な問題も事前に対処できます。

ライブの良さを生かしながらイベントの内容を広く伝えるには同期型と非同期型をうまく組み合わせると効果的です。例えば、先ず非同期型の動画を好きな時に繰り返し見てもらい、その後、同期型のライブでコミュニケーションを取りながら実施すると良いです。また、イベントのライブを収録すれば、参加できなかった人にも後でその動画を見てもらうことができます。以下にライブ配信の具体的な方法を記載します。

### ■YouTube のライブ配信

ライブ配信のカメラはパソコン内蔵のカメラでも可能ですが、図1のようにビデオカメラをパソコンに接続するとカメラの向きを変えたりズーム機能の操作ができるので便利です。

YouTube <https://www.youtube.com/> は無料ですが、動画を公開するには Google アカウントが必要です。アカウントでログインして図2の「カメラアイコン」→「ライブ配信を開始」→「ウェブカメラ」を選択して画面の指示に従います。但し、最初はアカウントの本人確認が必要で24時間程度かかります。

ライブ配信の URL は事前に広報できます。YouTube の閲覧者はチャットを使ってイベントに参加できます。ライブ配信した動画は自動的に保存され、後からいつでも動画を見ることができます。

### ■Zoom の YouTube 配信

Zoom で行うイベントを YouTube でライブ配信ができます。YouTube で多くの人に見てもらうために有効な方法です。Zoom は有料版が必要であり、アカウント管理画面の「設定」でライブ配信を許可します。YouTube は図2の「エンコーダ配信」からストリームキーとストリーム URL を取得して、「共有」から動画リンク URL を取得します。

イベント当日は図3の Zoom 画面で「詳細」→「カスタムライブストリーム配信サービスにてライブ中」を選択して、上記で取得した YouTube 配信情報を入力します。YouTube でライブ配信を開始すると Zoom の画面を配信できます。これにより、Zoom の参加者以外にも YouTube でイベントの内容を広く伝えることができます。

### ■まとめ

オンラインのイベントを主催する際に Zoom と YouTube のライブ配信について紹介しました。いろいろなイベントで応用できる機能ですので活用してみてください。

(文責：佐藤)



図1. カメラの接続



図2. YouTube 画面

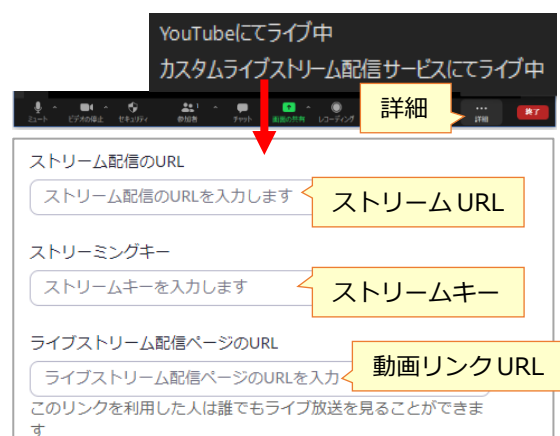


図3. Zoom 画面